

EchoによるAssay-ready plates作成手順

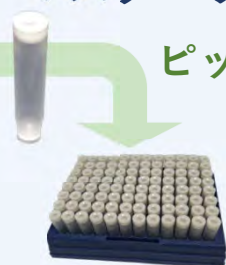


創薬機構化合物ライブラリー

②再現性試験など マスタープレートが無い場合

ピッキング

希望する化合物の入ったチューブ
を出庫



マスタープレート作製

チューブからプレートへ
化合物を分注

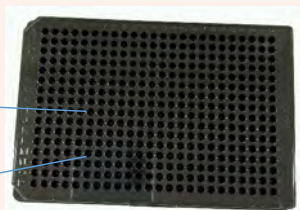


①1次スクリーニングなど マスタープレートが有る場合

プレートをもそのまま出庫



化合物のマスタープレート
2 mM or 10 mM (100%DMSO)



アッセイ用のプレート

申請者が準備

分注可能なプレートの一覧が申請書に記載
弊機構で調達可能なプレート有 (実費加算)

Echo内蔵の自動分注装置により、アッセイプレートへ化合物を2.5 nLの倍数、最大1000 nLまで精確に微量分注



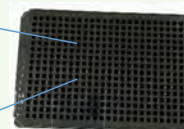
Echo® Liquid Handling Technology

ベックマン・コールター社 (旧Labcyte社)



音波で、2.5 nLの液滴を必要回数飛ばす事で、チップを使わず、非接触で精確に化合物を分注可能 (例: 8 滴で20 nL)

詳しくは→ <https://www.youtube.com/watch?v=tYg8DpYGIz0>



Assay-ready plates
として提供